

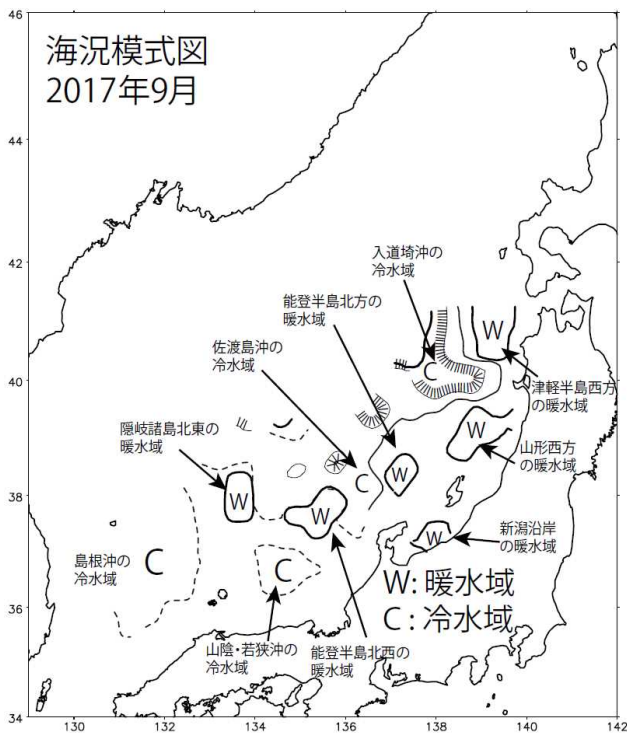


平成29年度 第3回 日本海海況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し国立研究開発法人水産研究・教育機構
日本海区水産研究所がとりまとめた結果 －

今後の見通し(平成29年10月中旬～12月)のポイント

- ・ 対馬暖流域の表面水温は”やや高め”で経過する。
- ・ 対馬暖流域の50m深水温は日本海北部及び西部ともに”平年並み”で経過する。



2017年10月中旬～12月の海況

- 隠岐諸島北東の暖水域は南進し隠岐諸島北～東方に分布。
- 能登半島北西の暖水域は東進し能登半島北方に分布。
- 能登半島北方の暖水域は西方から移動してきた能登半島北西の暖水域と合体し勢力を拡大しつつ停滞。
- 新潟沿岸の暖水域は消滅。
- 山形西方の暖水域は北進し津軽半島西方に分布。
- 津軽半島西方の暖水域は津軽海峡から流失。
- 島根沖の冷水域の張り出しは規模・接岸距離ともに平年並み。
- 山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは規模は平年並みで接岸距離はやや離岸。
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しはかなり小さくやや離岸。
- 入道崎沖の冷水域の張り出しはかなり小さくやや離岸。

問い合わせ先

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所

担当：業務推進部 加藤、江連

資源環境部 渡邊、井桁

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先URL

<http://abchan.fra.go.jp/>

平成29年度 第3回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2017年10月中旬～12月）

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は南進し、隠岐諸島北～東方に分布する。能登半島北西の暖水域は東進し、能登半島北方に分布する。能登半島北方の暖水域は、西方から移動してきた能登半島北西の暖水域と合体し勢力を拡大しつつ停滞する。新潟北方の暖水域は消滅する。山形西方の暖水域は北進し、津軽半島西方に分布する。津軽半島西方の暖水域は津軽海峡から流失する。
- (2) 島根沖の冷水域の張り出しは、規模・接岸距離ともに平年並みで経過する。山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは規模は平年並みで接岸距離はやや離岸で経過する。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、かなり小さくやや離岸で経過する。入道埼沖の冷水域の張り出しはかなり小さくやや離岸で経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部及び西部ともに“平年並み”で経過する。

2. 経過（2017年6月～2017年8月）

- (1) 6月に隠岐諸島北東で見られた暖水域は7月まで停滞した後に東進し、8月に能登半島西方に分布。6月に能登半島北方に見られた暖水域は7月まで停滞した後に東進し、8月に佐渡島北方に分布。6月に能登半島西方に見られた暖水域は、東進した後に7月に富山湾の暖水域と合体。6月に富山湾に見られた暖水域は、7～8月は停滞。6月に佐渡島北東に見られた暖水域は東進し、7月に佐渡島東方～津軽半島西方の暖水域と合体。6月に佐渡島東方～津軽半島西方に見られた暖水域は7～8月は停滞。8月に、隠岐諸島南東と能登半島北方で暖水域が発生。
- (2) 島根沖の冷水域は、6月は規模はやや小さく離岸距離は平年並み、7～8月は規模、接岸状況ともに平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、6月は規模は平年並みではなはだ離岸、7月は規模は平年並みでやや離岸、8月は規模、接岸状況ともに平年並み。佐渡島沖の冷水域は、6月は規模はやや小さくかなり離岸、7月はかなり小さくはなはだ離岸、8月はやや小さく接岸状況は平年並み。入道埼沖の冷水域は、6月は規模はかなり小さくかなり離岸、7～8月はかなり小さくやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
6月は、対馬暖流域の表面水温は、山口沿岸、若狭湾西部、能登半島西岸～北方、富山湾沿岸、新潟沿岸、津軽半島西方で“かなり高め”～“はなはだ高め”以外は、概ね“やや高め”～“平年並み”。7月は、山口沿岸、隠岐諸島北方、若狭湾北方～能登半島西岸、能登半島北西、青森はるか西方で“かなり高め”～“はなはだ高め”、山形沿岸、北海道西方で“かなり低め”～“はなはだ低め”以外は概ね“やや高め”～“平年並み”。8月は、山口沿岸、若狭湾沿岸から能登半島西岸、北海道西方で“かなり高め”～“はなはだ高め”以外は概ね“やや高め”～“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、6月は日本海北部、西部ともに“やや高め”。

3. 現況（2017年9月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島北東、能登半島北西、能登半島北方、新潟沿岸、山形西方、津軽半島西方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模、接岸状況ともに平年並み。山陰・若狭沖の冷水域は、規模、接岸状況ともに平年並み。佐渡沖の冷水域は、やや小さく接岸状況は平年並み。入道埼沖の冷水域は、かなり小さくやや離岸。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、島根沿岸～はるか北方、但馬～丹後半島北方、能登東方、能登～佐渡北方、津軽西方で“やや高め”～“かなり高め”、能登西方で“かなり低め”～“はなはだ低め”以外は概ね“平年並み”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海北部、西部ともに“平年並み”。

(註) 引用符(“ ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- | | |
|--------------|--------------------------------|
| “はなはだ高め(低め)” | : 約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ) |
| “かなり高め(低め)” | : 約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ) |
| “やや高め(低め)” | : 約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ) |
| “平年並み” | : 約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温 |

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産試験場	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	一般社団法人 漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 国立研究開発法人 水産研究・教育機構 日本海区水産研究所